

3 | 暮らしと気候

要点整理 1 日本の気候

見方・考え方

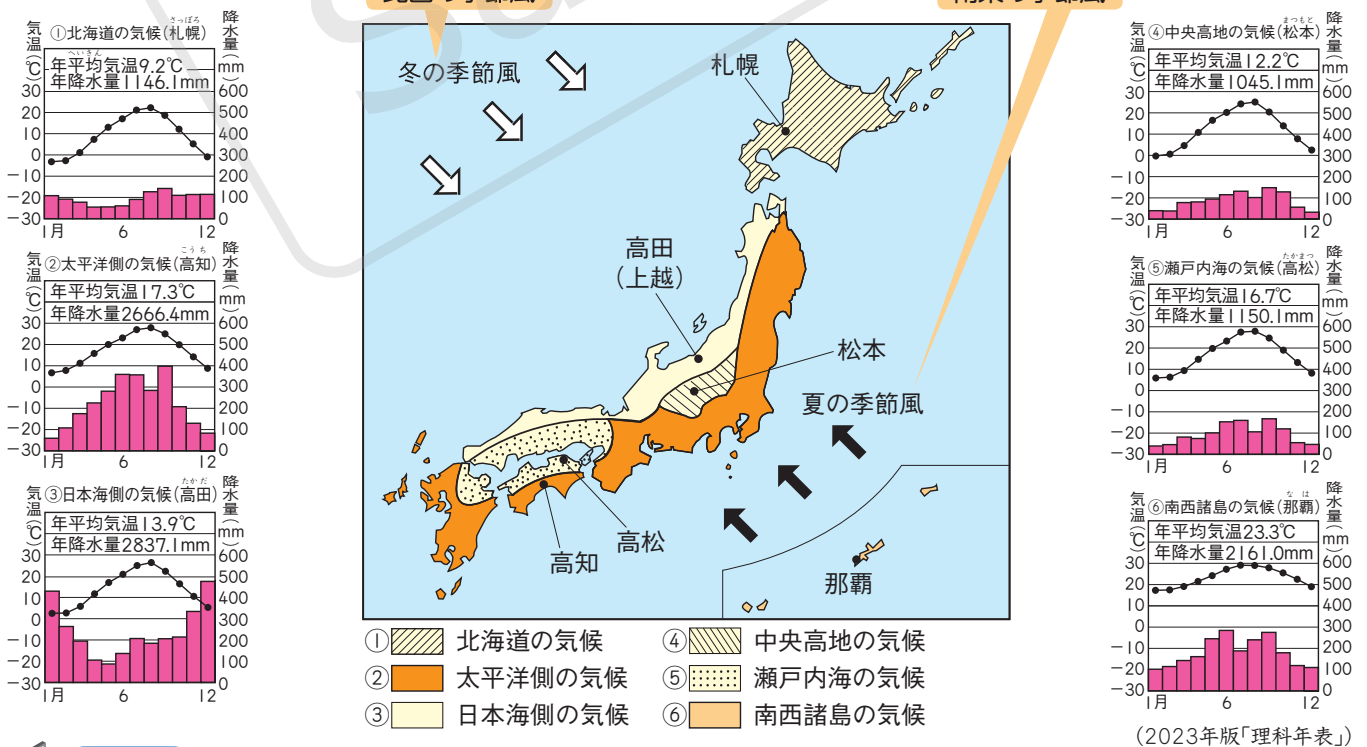
日本の気候は、いくつに分けられるか。

日本の気候にはどんな特色がある？ グラフで確かめてみましょう。

- 四季のある気候…日本の気候は、春・夏・秋・冬の四季がはっきりしています。6月の中ごろから7月にかけて、日本列島の大部分では、つゆ〔梅雨〕とよばれる、くもりや雨のふる日が続きます。夏から秋にかけては、台風がやってきます。
- 季節風のえいきょう…季節によって、決まった方向にふく風を季節風といいます。冬には北西の季節風がふき、日本海側に多くの雪をふらせます。太平洋側では乾燥した晴れの日が続きます。夏には南東の季節風がふき、太平洋側では雨がたくさんふってむし暑い日が続きます。
- 気候区分…6つの気候に区分されています。
 - 北海道の気候…冬の気温が低く、1年を通して降水量が少なく、つゆのえいきょうをほとんど受けません。
水分をふくんだ季節風は、山をこえるとかわいた風になってふきおろします。
 - 太平洋側の気候…夏は気温が高く、雨が多いですが、冬はかわいて晴れた日が続きます。
 - 日本海側の気候…冬に雪が多く、夏には太平洋側ほど雨はふりません。
 - 中央高地の気候…夏と冬、昼と夜の気温差が大きく、1年を通して降水量が少なくなっています。
 - 瀬戸内海の気候…1年を通して降水量が少なく、晴れた日が多くなっています。
 - 南西諸島の気候…1年を通して気温が高く、降水量が多くなっています。

降水量はほぼ同じですが、平均気温が高い方が瀬戸内海の気候です。

① 日本の気候区分



まとめ

日本の気候は、春・夏・秋・冬の四季がはっきりしている。季節風のえいきょうで、日本海側と太平洋側で気候は大きくことなる。

要点整理2 あたたかい土地の暮らし—沖縄県—

見方・考え方

暑さや台風に備えてどんなくふうをしているか？

あたたかい土地でくらすくふうは？沖縄県を調べましょう。

- (1) 暑さや台風とくらし…沖縄県には、1年に何回も台風がやってくるため、伝統的な家は、屋根のかわらが風で飛ばされないように、石灰と粘土を混ぜたしっくいで固めています。また、風を防ぐために、家の周りを石垣や樹木で囲んでいます。広い戸口は、暑さをやわらげ、風通しをよくしています。→②
- (2) あたたかさを生かした産業…あたたかい気候に合うさとうきび(砂糖の原料)やパイナップルがつくられています。また、花や野菜の促成栽培・抑制栽培もさかんです。

促成栽培(早づくり)・抑制栽培(遅づくり)…しゅんの時期とずらした時期に出荷する栽培方法。

- (3) これからの沖縄県…沖縄県は太平洋戦争の終わりごろに戦場となり、戦後もアメリカ合衆国に占領され、1972(昭和47)年に日本に返されました。しかし、現在もアメリカ軍の広い軍用地が残されています。一方、沖縄県では、美しい自然や独特の文化が見られ、多くの観光客がおとずれます。

要点整理3 寒い土地の暮らし

見方・考え方

暑さや雪に備えてどんなくふうをしているか？

寒い土地でくらすくふうは？北海道や新潟県を調べましょう。

- (1) 寒さのきびしい土地—北海道—

- ① 寒さに備える…家のドアやまどを二重にし、かべに断熱材を入れています。道路の下に温水パイプや電熱線を通して、雪や氷をとかすロードヒーティングの設備もあります。→③
- ② 自然を生かした農業…十勝地方では、大型の機械を使って、いくつかの種類の作物を順にちがう畑で育てる輪作をしています。宗谷地方では、広い牧草地で牛乳を生産する酪農がさかんです。
- ③ 受けつがれてきた文化…北海道では、先住民族のアイヌの人々が自然と生きる独自の文化を築いてきました。

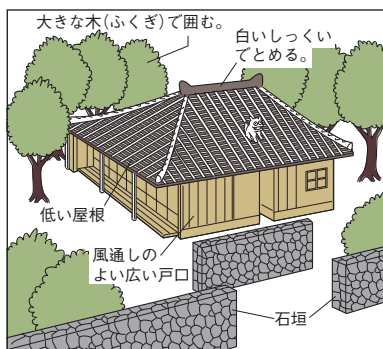
〔消雪パイプ〕

〔流雪こう〕

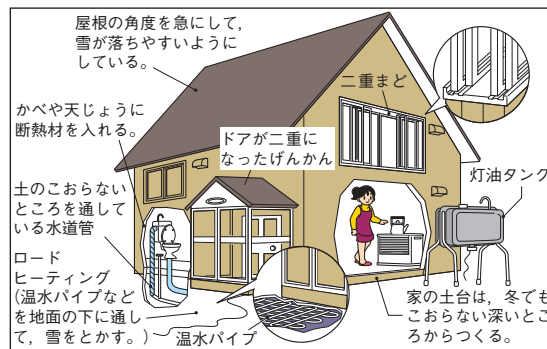


- (2) 雪とくらし—新潟県上越市—…道路には、地下水を利用して道路上の雪をとかす消雪パイプ、積もった雪を集めてすて、水で流す流雪こうがあります。

②暑さや台風に備えた家づくりのくふう




③寒さに備えた家づくりのくふう



まとめ

あたたかい土地では、暑さや台風に備えて家づくりのくふうをしてきた。寒い土地では、寒さや雪に備えて家や道路のくふうをしている。

確認問題

 **要点整理1** で学んだことを確認しよう！

- ① 日本の気候は、春・夏・秋・冬の _____ がはっきりした気候です。
- ② 6月の中ごろから7月にかけて、くもりや雨のふる日が続くことを _____ といいます。
- ③ 日本の気候に大きくえいきょうしている、季節によって決まった方向にふく風を _____ といいます。
- ④ 日本の気候のうち、冬の気温が低く、1年を通して降水量が少なく、②のえいきょうがほとんどないのは _____ の気候です。
- ⑤ 日本の気候のうち、北西の③のえいきょうを受けるため、冬に雪が多いのは _____ の気候です。
- ⑥ 日本の気候のうち、南東の③のえいきょうを受けるため、夏に気温が高く、雨が多くふるのは _____ の気候です。
- ⑦ 日本の気候のうち、夏と冬、昼と夜の気温差が大きく、1年を通して降水量が少ないのは、 _____ の気候です。
- ⑧ 日本の気候のうち、1年を通して降水量が少なく、晴れた日が多いのは _____ の気候です。
- ⑨ 日本の気候のうち、南西諸島の気候にはどのような特色がありますか、気温と降水量に着目して答えましょう。
1年を通して _____。

 **要点整理2** で学んだことを確認しよう！

- ⑩ 沖縄県の昔からの家は、台風ひがいの被害を防ぐため、屋根のかわらを石灰せっかいと粘土ねんどを混ぜてつくった _____ で固めてあります。
- ⑪ しゅんの時期とずらした時期に出荷する、花や野菜の栽培方法を、促成栽培(早づくり)・(遅づくり)といっています。
- ⑫ 太平洋戦争後、占領され、1972年に日本に返された沖縄県には、現在も _____ 軍の広い軍用地が残されています。

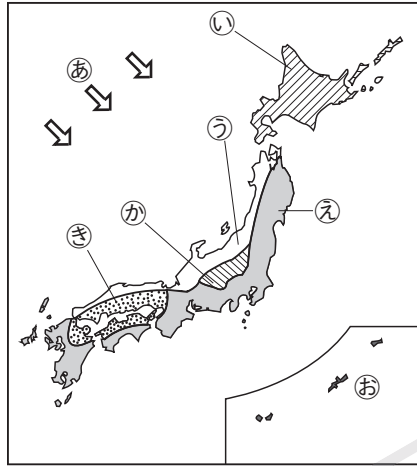
 **要点整理3** で学んだことを確認しよう！

- ⑬ 温水パイプや電熱線を通して、道路の雪や氷をとかす設備を _____ といっています。
- ⑭ 北海道で、自然と生きる独自の文化を築いてきた先住民族の人々を _____ といっています。
- ⑮ 寒さに備えた家づくりのくふうの1つについて、答えましょう。
例えば、屋根の _____ を急にして、 _____ が落ちやすいようにしてあります。

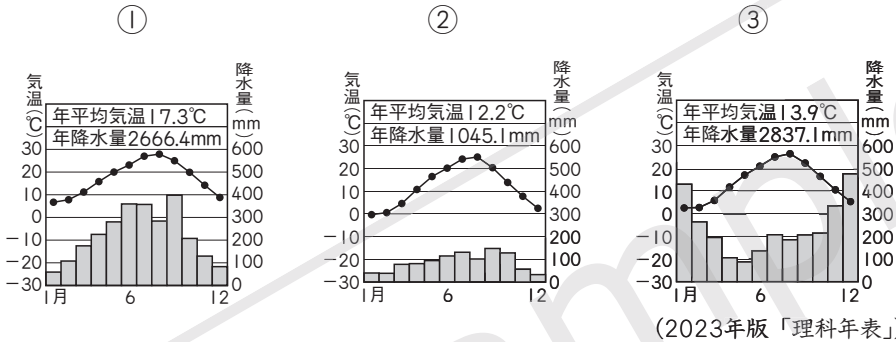
練習問題

1 日本の気候 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中の㉔は、北西の方向から冬にふきつける風を示しています。この風を何といいますか。
- (2) 日本列島の大部分で、6月の中ごろから7月にかけてくもりや雨の日が続くことを何といいますか。
- (3) 地図中の㉕・㉖・㉗の気候の名前を、それぞれ答えなさい。
- (4) 気温と降水量を示した次のグラフ①～③にあてはまる気候を、地図中の㉕～㉗から1つずつ選びなさい。



(1)	
(2)	
(3)	㉕
	㉖
	㉗
(4)	①
	②
	③



2 あたたかい土地(沖縄県)のくらし 右の写真を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 右の写真のように、屋根のかわらをしっくい固め、家のまわりを石垣で囲んでいるのは、何に備えるためですか。
- (2) 沖縄県でつくられるおもな作物のうち、砂糖の原料となる作物は、何ですか。
- (3) 沖縄県に残されている軍用地は、どこの国のものですか。国名を答えなさい。



(1)	
(2)	
(3)	

3 寒い土地のくらし 寒い土地で見られる次の㉘～㉚のくふうにあてはまるものを、あとのア～オから1つずつ選びなさい。

- ㉘ 地下水を利用して、道路上の雪をとかす。
 - ㉙ 電気が流れる電熱線を利用して、雪や氷をとかす。
 - ㉚ 道路に積もった雪を集めてすてて、水で流す。
- ア 断熱材 イ 流雪こう ウ 消雪パイプ
エ 二重まど オ ロードヒーティング

㉘	
㉙	
㉚	